



進路だより



福島県立あぶくま支援学校

進路指導部

2025年7月18日発行 第1号

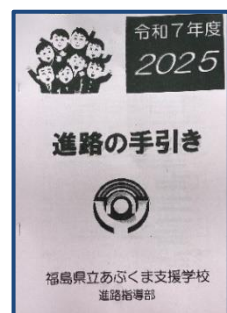
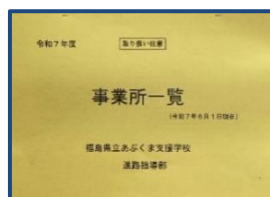
進路指導主事より ごあいさつ



令和7年度がスタートし、新しくなった学年、学部、新しい教師と一緒に学習に少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。昨年からの成長を感じながらも、目の前にある課題と向き合い、日々の学習活動やご家庭での日常生活動作、お手伝いなど、できることを少しでも増やせるように、がんばっていることと思います。引き続き児童生徒の頑張りを見守っていただければと思います。

さて、中学部、高等部では校内実習が実施され、所属する作業班を会社に見立て、仕事がある生活を送りました。疲れを感じる生徒や体調を崩す生徒もおりましたが、自身の課題が働くために必要な知識や技能にあるのか、あるいは日常生活の中にあるのかといったことに気づく良いきっかけになったのではないのでしょうか。また、中には自身の良さや得意なことに気づいたり、成長や仕事へのやりがいを感じた生徒もいたようです。実習で得たヒントを学校での次の学習や家庭生活に生かすことで、さらに成長できることを期待します。

6月のはじめに「進路の手引き」と「事業所一覧」を配付させていただきました。「進路の手引き」には、今どんなことができているか、どんなことができればいいかをチェックできるページがあります。まずはp32の「小学部で学習する内容」の項目が一人でできるかどうかお子様と一緒にチェックしてみたいかがででしょうか。中学部、高等部の生徒も、まずは小学部の項目で結構です。「ひとりでできる」とはどういうことか、できない場合、どうすればよいか。周囲の人にどう伝えるか。一緒に考えてみてはいかがででしょうか。



こんなこと やっています！ 進路選択、進路実現に向けての学校の取り組み



<その1 キャリア・パスポート>

キャリア・パスポートは、障がいの有無にかかわらず、自分の学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりすることを通して、「これまでの自分の成長や変容」「今の願いや思い」と「将来」とをつないでいくことをねらいとした教材です。がんばったこと、できるようになったこと、楽しかったこと、自分の長所、将来の夢や希望等を一つのポートフォリオとして記録し、毎年蓄積していくことで、将来に向かって主体的に考える力の育成が期待できます。

小学部や中学部段階では「将来」について考えることは少し難しいかもしれませんが、「好きなこと」「がんばりたいこと」などを考えることを通して、自分のことを理解することにもつながります。

高等部になると「好きなこと」「得意なこと」をいかして、「なりたい自分」に近づくためにどうすればよいか考えるきっかけにもなります。また、学期末に「がんばったこと」などを保護者や教師と振り返ることで、自分の成長に気付いたり、自信につながったりします。

それぞれの「自分らしい生き方」の実現に向け、成長の積み重ねを見える化する教材として、ご家庭でもご活用ください。

小

中

高



＜その2 中学部編 校内実習＞

中学部では職業生活に近い体験ができるように「校内実習」という形で前期に5日間、後期に8日間「作業学習」に取り組む期間を設定しています。「校内実習」のねらいは大きく分けて3つになります。1つ目が「働くことが中心の生活を体験すること」。2つ目が「自分の仕事ができ、進んで作業に取り組むことができるようになること」。そして3つ目が「自分の得意なことや課題が分かること」です。今年度は先日、前期の校内実習が終わりました。まだ「働く」ということへの体験が少ない1年生と、それが少しずつ分かってきた2年生、そして将来の進路を考え始めた3年生が協力し合い、それぞれに良い影響を与え合って取り組むことができました。また、5つある作業班がそれぞれに生徒のやる気を引き出したり、生徒に合った作業内容を考えたりすることで、各作業班の特色を生かしながら「校内実習」を有意義な活動とすることができました。



ちょっと知りたい！ 進路のあれこれ



うちの子は小学部だから、進路はまだまだ先のこと。時期がきたら情報収集すればいいや。



進路って学校が考えてくれるんでしょう？
進路って言われても、何が分からないかさえ分からないわ。

いえいえ。進路はお子さんが自分の意思で決定していくものであり、そのためには保護者の情報収集がお子さんの意思決定の手助けとなります。お子さんの進路実現の一步は小学1年生であってもすでに始まっています。進路だよりでは保護者の皆様が「こんなこと知りたいな」という進路情報を提供していきたいと考えていますので、知りたいことをぜひお聞かせください。ではさっそく、ちょっと知りたい第1回目！

ちょっと知りたい！ 特別支援学校卒業後に就職する福祉サービス事業所や企業は、どのような力をもった人材を求めていますか？ 在学中に身につけておいてほしい力はなんだと言っていますか？



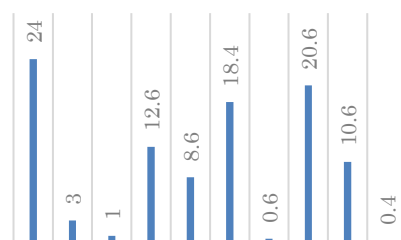
昨年の資料になりますが、ハローワークが企業の雇用を担当している方、500人にアンケートをとり、採用するポイントを伺った内容になります。これは障がいの有無に関係ありません。

この結果から、学校の成績や資格ではなく、コミュニケーション能力、人柄、意欲が大切であることがわかります。

高等部の生徒には「休まないこと（体調管理）」「あいさつ」、「素直さ（わからないことは聞く）」が大切であると伝えています。

これは、働く生活のためには知識・技能よりも、普段の日常生活がしっかりと行えていることが大切であるということです。この指導においては家庭が中心となりますが、学校と連携を図って支援していくことで、多角的な視点でお子さんの成長を促すことができるのではないのでしょうか。学級担任と日頃から情報の共有を図っていけると良いですね。

500人に聞きました。
新卒者を採用するポイントとして重要視している内容は？



コミュニケーション能力
志望動機
学校成績
基本的な生活態度
責任感
労働意欲
資格
人物・人柄
新しい知識を学ぶ意欲の...
その他